

本計画の目標を達成するためには、毎年度の進捗管理が重要です。進捗状況を管理するために「基本指標」と「モニター指標」という2種類の指標を用いています。基本指標は、具体的な数値目標を設定し進捗状況を管理する指標です。モニター指標は、具体的な数値目標は設定しませんが、毎年度その推移を把握する指標です。

## 6.1 基本指標

### 1 基本指標と目標値

次の2つの基本指標で進捗状況を管理します。

表 6-1 基本指標

基本指標 1	区民1人1日当たりの総排出量 (g/人日)
基本指標 2	区民1人1日当たりの家庭ごみ排出量 (g/人日)

基本指標1「区民1人1日当たりの総排出量」は、区が処理に関与するごみ・資源の総量を区民1人1日当たりの量に換算したものです。リデュース（発生抑制）・リユース（再使用）、民間ルートでのリサイクル（資源の店頭回収、新聞販売店回収、事業系ごみのリサイクルなど）の結果として減少します。本計画ではごみ減量を図るとともに、資源についても2Rを優先する観点から、これを新たに基本指標として位置づけます。

基本指標2「区民1人1日当たりの家庭ごみ排出量」は、家庭から排出される収集ごみの合計を区民1人1日当たりの量に換算したものです。リデュース・リユースに加えて、分別徹底の効果を測る指標となることから、基本指標として位置づけます。

これまで基本指標としてきた家庭系リサイクル率と事業系リサイクル率は、本計画がリサイクルに先立って2Rを推進することを基本方針とするため、モニター指標とします。また、事業系ごみは、排出者による自己処理が原則であり、区が把握できるごみ量に限度があることから、事業系ごみ量もモニター指標とします。

基本指標の目標値を表6-2に示します。

（「資料3 ごみ・資源量の推計 4 目標値の算出」参照。）

表 6-2 最終目標年度の基本指標の目標値

単位 (g/人日)

		平成21年度 推計値	平成26年度 推計値	平成32年度 最終目標値
基本指標 1	区民1人1日当たりの総排出量	-	1,075	987
基本指標 2	区民1人1日当たりの家庭ごみ排出量	435	386	332

## 2 進捗状況の管理

進捗状況の管理に使用するデータを表 6-3 に示します。これらの数値を使用して、年度ごとに基本指標を算定し、最終目標年度の目標値と比較をすることで進捗状況を管理します。

表 6-3 進捗状況を管理するための行政データと仮定値

指標の算定式		総排出量 = $W1 + W2 + W3 + W4 + R1$
		家庭ごみ排出量 = $(W1 \times A) + (W2 \times B) + W3$
算定に使用するデータ	行政データ	W1 区収集による可燃ごみ量
		W2 区収集による不燃ごみ量
		W3 粗大ごみ量
		W4 持込ごみ量
		R1 区が収集もしくは関与する家庭系リサイクル量 (集団回収、集積所回収、拠点回収、粗大ごみ資源化分の合計値)
	仮定値 <sup>※</sup>	A 区収集による可燃ごみに占める家庭ごみの割合 66.1%
		B 区収集による不燃ごみに占める家庭ごみの割合 66.9%

※ 一般廃棄物処理基本計画の改定や大きな分別変更があった時点で実施する、ごみ排出についての実態調査やアンケート調査による推計値。区で実績を把握できないため、新たに調査を実施するまでの間、固定値とする。仮定値の算定方法は P101 「資料 6 進捗状況管理のための仮定値の算定」を参照。

## 6.2 モニター指標

モニター指標は、ごみ量に関する指標、環境負荷に関する指標、コストに関する指標として、毎年度、その推移を把握します。各指標の具体的な内容は、表 6-4 のとおりです。

表 6-4 モニター指標

ごみ量に関する指標	家庭系リサイクル率
	事業系ごみ量
	事業系リサイクル率
環境負荷に関する指標	最終処分量
	収集車両のエネルギー消費量
	温室効果ガス排出量
コストに関する指標	人口 1 人当たり年間処理経費
	ごみ・資源 1 t 当たり年間処理経費

## 6.3 PDCAサイクルによる進捗評価の概要

表 6-5 に P D C A サイクルによる進捗評価の概要を示します。毎年度、行政データを用いて担当部署による点検・評価を行いながら、文京区リサイクル清掃審議会で審議します。また、必要に応じてごみ排出についての実態調査やアンケート調査を実施し、ごみの組成や区民 1 人 1 日当たりのごみの排出量、区民や事業者の意識・意向等を把握しながら点検・評価を行っていきます。

表 6-5 PDCAサイクルによる進捗評価の概要

頻度	毎年度	一般廃棄物処理基本計画改定時
点検・評価の方法	行政データや各施策の執行状況や達成状況などを基に実施します。	ごみの組成割合や区民 1 人 1 日当たりのごみ量、区民や事業者の意識・意向等についての調査を実施します。
点検・評価の主体	担当部署による点検・評価を基本とし、文京区リサイクル清掃審議会で議論します。	
点検・評価の項目	●基本指標	●左記に次の項目を追加します。
	区民 1 人 1 日当たりの総排出量 (g/人日)	ごみ・資源のフロー
	区民 1 人 1 日当たりの家庭ごみ排出量 (g/人日)	家庭系収集ごみ量
	●モニター指標	事業系収集ごみ量
	家庭系リサイクル率 (%)	ごみへの資源物の混入量
	事業系ごみ量 (万t/年)	区が収集・関与するリサイクル量
	事業系リサイクル率 (%)	区民の意識・意向
	最終処分量 (t/年)	事業者の意識・意向
	収集車両のエネルギー消費量 (GJ/年)	新たな施策の環境負荷評価
	温室効果ガス排出量 (t/年)	新たな施策のコスト評価
	人口 1 人当たり年間処理経費 (円)	
	ごみ・資源 1 t 当たり年間処理経費 (円)	
見直し・改善の方法	一般廃棄物処理実施計画に反映します。	一般廃棄物処理基本計画に反映します。
情報公開	区民に対して情報公開します。	